

北海道大学総合博物館
常設展
2019年9月
リニューアル



BORDER TOURISM

国境観光の様々なかたちと可能性を考える

国境観光

主催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 境界研究ユニット (UBRJ)

閉ざされた空間で生み出す
境界を越えて向こう側と繋がる
ボーダーツーリズムの様々な
かたちと可能性を考える

BORDERFUL WORLD

世界はボーダフル

BORDER TOURISM TODAY

ボーダーツーリズムの現在

KARAFUTO AND SAKHALIN

樺太とサハリン島

PHOTO EXHIBITION

写真展 [ボーダーツーリズムの端っこ]

会場：北海道大学総合博物館 2階 スラブ・ユーラシア研究センター UBRJブース

*月曜休館 (祝日の場合は翌日休館)、臨時休館あり

時間：10:00 ~ 17:00 (6 ~ 10月の金曜のみ 10:00 ~ 21:00)

協力

NPO法人 国境地域研究センター (JCBS) / 境界地域研究ネットワーク JAPAN (JIBSN)

人間文化研究機構北東アジア地域研究北大スラ研拠点 (NoA-SRC) / 北海道大学出版会 / 西日本新聞社

稚内市 / ビッグホリデー(株) / エムオーツーリスト(株) / 北都観光(株) / ウェザーコック(株)

PHOTO EXHIBITION

ボーダーツーリズム 端っこで見た



納沙布岬灯台とモネロノ島を望む

稚内在住のカメラマン、齊藤マサヨシ氏が撮影した世界10箇所の端っこ。ボーダーの魅力を実迫力の写真でお伝えします。

BORDERFUL WORLD

世界はボーダフル



米国側の空港入り口

グローバル化された社会、そしてボーダレスな世界。ちょっと前まで、人類の輝く未来を描いていたフレーズがいまや虚しい。昨今、人々は内向きになり、外に向かって壁を作り、国と国は叩きあう。「領土を守れ、敵を追い出せ」。私と貴方、我らと彼らの間に線が要る。人はどこかに境界(ボーダー)を引かねば生きていけない。だが境界は移ろいやすく、消え、現れ、そして動く。逃げることなく、できねえ。世界はボーダーでいっぱい。今回の旅は日本発で、北米メキシコ、欧州、そして中東へと廻ります。

BORDER TOURISM TODAY

ボーダーツーリズムの現在



日本最西端の碑 (与那国島)

福岡～対馬～釜山で始まったボーダーツーリズムの実証実験。その後、稚内～サハリン、八重山～台湾と日本各地に広がります。そして北海道の端っこ、東から北へとオホーツクを結ぶバスの旅、東京から小笠原へ丸一日かけた船の旅など「国境を越えないボーダーツーリズム」へ、2016年からは日本(新潟、福岡、成田、札幌)発での中露国境の旅も始まり、東はウラジオストク、ハルビンから西は内モンゴル、シベリアへと展開しています。東南アジア・マラッカ海峡の国境など続々と新しいツアーも誕生中。

KARAFUTO AND SAKHALIN

樺太とサハリン島



民族衣装を着飾った少女たち

漫画「ゴールデンカムイ」、映画「北の極守」などで静かなブームとなっている樺太・サハリン。現在、休止中の北海道・稚内からの航路復活とともに、北へのボーダーツーリズムの再興が期待されています。サハリンの魅力は南だけに止まりません。旧日露(ソ)の国境線があった北緯50度線から北への旅も刺激的です。展示では国境標石3号レプリカとともにみなさまのご来場をお待ちしております。

ACCESS

アクセス

北海道大学総合博物館 2階
スラブ・ユーラシア研究センターUBRJブース
札幌市北区北10条西8丁目 (北海道大学キャンパス内)
電話 011-706-2658 <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>

CONTACT

お問い合わせ

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
北海道札幌市北区北9条西7丁目
TEL : 011-706-2388 FAX : 011-706-4952



最新情報はホームページをご覧ください
<https://src-h.slav.hokudai.ac.jp/ubrij/>

